

1. 勉学の状況

所属：工学部デザインコース 学年：4年

留学先：Köln International School of Design (Faculty of Cultural Sciences)

現在の学期：Summer Semester

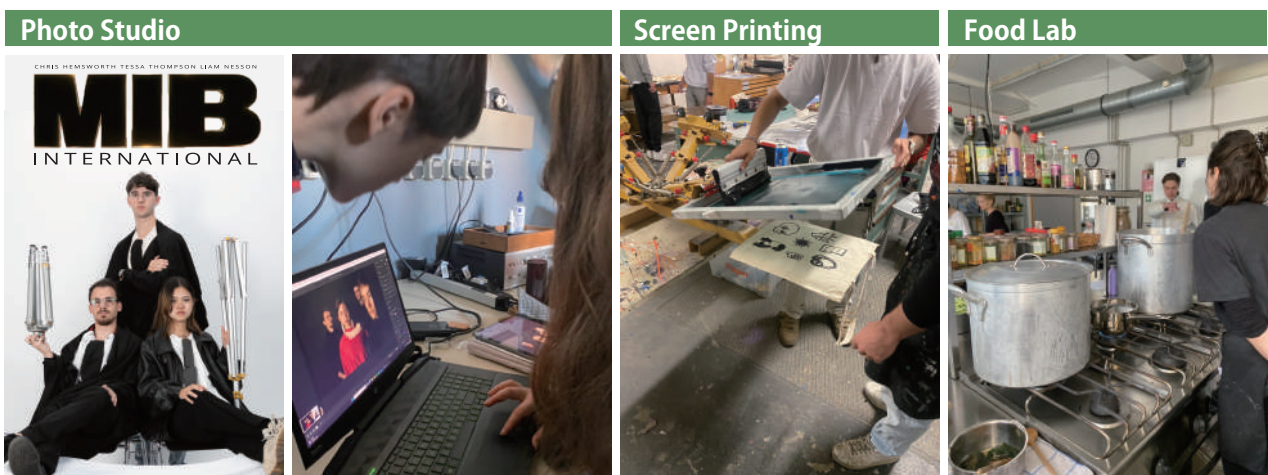
曜日	履修科目・時間等
月	
火	Re: Re: Reareng
水	Self Initiated Projects
木	Re: Re: Reareng
金	

履修状況

- ①KISD essential (9/25~10/6)
- ②Cologne Resources (10/9~10/13)
- ③Re: Re: Reareng (10/17~12/8)
- ④From Service Design to Policcy Design (11/27~12/1)
- ⑤International Mentoring
- ⑥Self Initiated Projects (10/18~12/8)

9/8~9/15が履修登録期間でした。留学生は優先順位が高いので9/1~履修登録ができます。私は9/8に行き、ほとんどの授業は登録可能でしたが、先着順なので人気の教授の授業ですでに埋まっているものもありました。しかし、ここで登録できなくても、初回の授業に出席すれば登録できる可能性は十分にあるとのことでした。KISDの授業形態は普通の大学と違い、プロジェクトごとに授業期間も時期も違います。気をつけることが多く複雑ですが、留学生に向けてのzoomが8月半ばから9月半ばにかけて複数回あり、丁寧に説明してくれます。また、全生徒にバディ(KISDの学生)がつき、なんでも相談できるので、先生はもちろん、バディが親身になって手伝ってくれます。気になる授業をとることができて、なんとか履修はひと段落しました。

9月21日にwelcom partyがあり、オリエンテーション・ケルン探索・自由時間(軽食付き)を行いました。9月25日からKISD essentialが始まりました。学生が利用可能な工房や施設を実際に使いながら紹介してもらうイントロダクションです。



大学に来て感じたことは、たくさんの本格的な施設があり、幅広いデザインを学ぶ環境が揃っていること、そして学生は、先生との距離が近かったり、休みたい時に休んだり、かなりオープンな一方で、デザインに対してそれぞれ興味がしっかりあって真剣な面もあるなということです。また、先生や学生がとても優しく、置いてきぼりにならずに学べるので、今後わからないことは全て聞いて、アグレッシブに行動していこうと思います。

2. 生活の状況

●家での過ごし方

ケルンでの家探しはとても難しく、20~30通メールを送り、OKの返事をもたらしたのは1つだけでした。結果、私は現在ホームステイをしております。イラン出身のご家庭でホストマザーと娘さんがおり、またオーストリアから来たルームメイト（サウジアラビア出身）が一人います。みんなとても優しいです。また、ホストマザーが1週間に1度スーパーで野菜や果物を買ってきてくれるので、食費はほとんどかかりません。ルームメイトが調理好きで、よくみんなに食事を作ってくれます。しかし、私以外、みんな味は濃いめ&辛めが好きでいつも調味料をあとがけしています。中東の食文化でしょうか。また、ドイツでは外食は高いので家で食べることがほとんどです。ドイツではソーセージとじゃがいも漬の食生活になるかなとも思っていたのですが、ホストファミリーはソーセージが好きではないようなので、こちらにきてドイツ料理を食べることは実は今の所ほとんどありません。



ホームステイをする上で困っていることとしては、ルームメイトのお金の使い方が少々荒く、食材など共有するものも躊躇いなく買い足してしまうことと、私の部屋にホストマザーの私物があるので、ノックをするのですが躊躇いなく入ってくることです。

●観光

大学が始まるまで日にちがあったので、ドイツのたくさんの都市に行きました。学生は15ユーロ払えば、ドイツ国内電車乗り放題（新幹線は乗れない）なので、トレインチケットを使って長時間長距離移動をたくさんしました。



ドイツで1ヶ月暮らしてみて感じたことは、見知らぬ人同士でも他人過ぎないことです。初めて会った人同士で話す場面や、困っている人に迷わず手を差し伸べる場面をよく見かけます。私も、スーツケースを持ってもらったり、大学のカバンを持っていたらバス違うよと教えてくれたり、駅までの道を教えにきてくれたりしました。もう一つは、道でも駅でも大学でも、みんなタバコを吸っていることです。ドイツは環境配慮に気を遣っている国かなと思っていたので意外でした。一方で、道の至る所にゴミ箱が設置されていて、その数は日本に比べて圧倒的です。しかし、駅の周りは特にゴミが落ちていて、どこでも捨てられるからこそ、綺麗にする意識が薄くなっていたりするのかなとも感じました。

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：融合理工学府 創成工学専攻

学年：1年

留学先：アアルト大学芸術デザイン校

現在の学期：spring semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	13:15~16:00 Design Research/ 13:15~16:00 Design Culture Now
火	9:00~17:00 Design Strategy and Innovation
水	9:00~17:00 Photography Workshop
木	9:00~17:00 Design Strategy and Innovation
金	9:00~12:00 Contemporary Graphic Design/ 9:00~17:00 Design Strategy and Innovation
土・日	

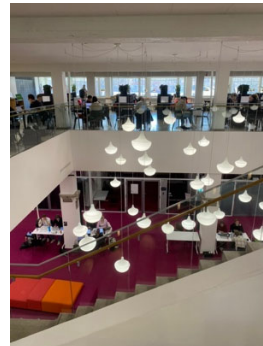
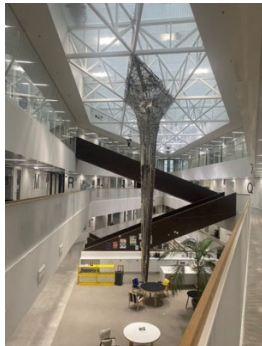
履修科目や近況について

【勉学の近況】

アアルト大学は規模がとても大きく、学生の年齢層やバックグラウンドもさまざまです。さらに1つの授業内でも、幅広い分野から多くの方がレクチャーを行ってくださるなど、質の良い授業をレベルの高い学生と一緒に日々受けているなど実感しています。

私は、CoID (Collaborative Industrial Design) という学科に所属をしています。CoID の授業はサービスやリサーチなど、かなり論理的な内容のものが多いです。アアルト大学では他学科の授業も履修できるので、メディア系の学科から実践的な授業も受講しています。

Design Strategy and Innovation は、一つのブランドを徹底的に分析して戦略をデザインしていく授業です。まだ1週目が始まったばかりですが、週3日の大きめの授業で講義も授業の構成も面白く今後が楽しみです。また、Contemporary Graphic Design では、実際に街を歩いたり周囲の物理的なものを観察したりしてビジュアルを創作していく授業です。ヘルシンキの街並みや自然、建物など、「これをもとにパターンを作れないかな」とデザインの視点を持ちながら街歩きをするのはとても楽しかったです。

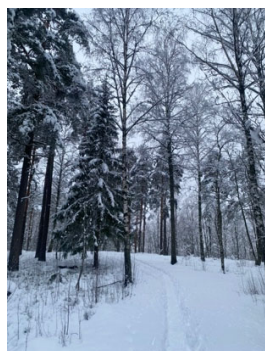


↑大学キャンパス

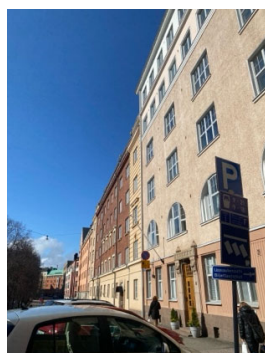
【生活の近況】

ヘルシンキに来てまず驚いたのは、「本当にこの街がフィンランドで一番大きな都市なの!？」ということでした。人が少なく、特に真冬の夜はほとんど人を見かけません。しかしその分、とても平和で街は綺麗で自然に囲まれた素敵な都市です。自然公園や森が近くにあるので休みの日は散歩をしに行くこともあります。とても住みやすい国だなと思っているのですが、それでも1年の半分は冬で4月の末になっても雪は降っていて、ほとんど雪・曇り・雨なのに、なぜ幸福度世界1位なのだろうと今まで納得できていませんでした。ですが先日、気温はまだ低いですが、久々の快晴でした。長い冬からようやく春が来たように感じ、街を散歩していると、建物が日光に反射してこんなに素敵な街並みだったのかと気づきました。そして「この日を待っていた!」という気持ちになり笑、春が来ることがこんなにも嬉しいのかと幸せな気持ちになり幸福度1位の理由が少しわかった気がします。夏至は最高だとフィンランド人の友達はみんな言うのでとても楽しみです。

住居に関しては、オランダ人とスロベニア人の留学生の子と3人でシェアルームをしています。壁は薄いので話し声は聞こえてきますが、部屋はとても綺麗で、2人ともとても良い方達です。友達が来るとみんなでリビングに集まって一緒に話すこともあり、楽しく過ごしています。また、アパートメントにはサウナが付いており、フィンランドの文化を満喫しています。



↑冬のヘルシンキの様子



↑晴れの日のヘルシンキの様子